

八工が準決勝進出

八学光星、一歩及ばず

アイスホッケー

県高校総体スケート

第72回県高校総体スケートパーク八戸でアイスホッケー競技選手権は13日、ケー1競技が始まり、1回八戸市のテクノルアイス 戦・八戸工―八学光星の



【八戸工―八学光星】第2ピリオド33秒、八戸工のFW藤巻（右手前）がバックを押し込み、2―2の同点に追いつく―テクノルアイスパーク八戸

1試合を行った。八戸工が4―3で接戦を制し、準決勝に駒を進めた。

八戸工は1―2で迎えた第2ピリオド33秒、FW藤巻がゴール前でパツクを押し込み、2―2の同点に追いついた。さらにその後、FW永田が追加点を挙げ逆転。しかし同4分6秒、PS（ペナルティショット）を献上し追いつかれた。

一進一退の攻防が続いていた第3ピリオド16分48秒、パワープレー（数的有利）の好機でDF石ケ森がシュートを決め、勝ち越した。

八学光星は粘り強く追いついたものの、あと一歩及ばなかった。

14日は午後6時から、同リンクで準決勝・八戸―八戸商の1試合を行う。（工藤慎子）